

土砂さいがいの大変さ

上野村立上野小学校 四年 月田 晴羅

ぼくが住んでいる上野村でも、おとし台風十九号のさいがいがありました。たくさん雨がふったので川の水がふえました。橋が流されたり、土砂くずれがおきた場所もあったようです。ぼくの通っている小学校でも体育館が川の近くなので体育館が水びたしになって土や小石も入ってきていました。でも先生や高学年のお兄さんやお姉さんがかた付けたりそうじをしてくれました。台風が来てから長い間、村の中でもあちこちで工事をしていたのを覚えています。ぼくの家族や近所の人たちは、ひなんしないで済みましたが村の中でひなんした人がたくさんいたみたいです。その時は、まだ二年生だったのであまり覚えていません。でも、お母さんは川の水がふえて川の流れる音がとても大きく聞こえてきたのでこわかったと言っていました。この台風で、群馬県では富岡市やふじ岡市で四人の方がなくなつたそうです。ぼくはとても悲しくなりました。

ぼくは台風がきて、大きなさいがいも起きても大丈夫なように、ひなんのじゅんびをしていれば安心だと思えます。色々とそなえるのは大変だけど、ひなんしなくてはならない時に、自分や家族がとも助かると思うからです。またぼくの友達の妹はひなんしている時、こわがって泣いてしまつたそうです。ぼくはもしもひなんするときにあつたら、小さい子にやさしくしてあげたり、遊んであげたりしたいと思いません。

また、雨がたくさんふつた時はダムが水をたくわえたり、洪水を調節したりして水がいを防止していることを知りました。ダムがなかったら、台風のさいがいももっと大変なことになっていたかもしれないと思いました。そう思うと、ダムつてすごいな、ありがたいなと思えました。それから山の木がそれぞれ根をしっかりとっているので土砂をくずれにくくする働きをしていることも知りました。これからも木を大切に、たくさん木を切つてはいけません。木といえ、二十年くらい前に、ぼくのおじいちゃんの家近くの道路でも、土砂さいがいも起きたという話を聞きました。その時は台風が来て、雨がたくさんふつた時に土砂がくずれて大きな木がたおれたそうです。そのせいで、沢の水が道路の上を流れて大きな穴があいてしまいました。水が引くまでに三日くらいかかり、その後、車が通れるようになるまで、さらに三日かかったそうです。道路がきれいになおるまでには一年もかかったという話を聞いてとても大変だったんだなと思えました。でも、けがをした人はいなかったのです。本当によかったです。ぼくは、この話をおじいちゃんから聞いて、あつという間に木をたおしてしまう土砂さいがいもこわいけど、こわれただ道路などをくり返しなおしていく人の力もつとすごいなと思えました。

ぼくは、これからも、ひなん訓練にまじめに参加したり、いつでもひなんできるようにそなえたりと自分のできることをがんばっていききたいです。